

猫魔ヶ岳

猫魔ヶ岳は、標高 1,404 メートルの非活火山です。およそ 40 万年前の噴火で峰の 1 つが山体崩壊し、雄国沼という湖が形成されました。

猫魔ヶ岳とは「魔物の猫の峰」という意味です。この呼称は山にまつわるいくつかの化け猫伝説に由来すると言われています。最も一般的な物語は山に住む化け猫の怪談です。この猫は人間に化けて村人を誘き出し、その肉を喰らっていたそうです。仏僧の空海（追称は弘法大師：774～835 年）がこの猫を捕らえ、山の中腹にある巨岩群の中に封じ込めたと言われています。